

これでバッチリ!

# 転職活動やることリスト

[▶ 転職活動やることリストの目次へ](#)

## 08 応募しよう

企業によって応募方法がいろいろ。手順をよく確認して応募しよう。複数の企業に応募する場合は、後で混乱しないように情報管理をしっかりと！

### 各種応募方法のポイント

- 求人サイトの応募フォームから応募する。  
「リクナビNEXT」に会員登録すると、各企業との応募・返信の履歴が残せる。面接前に応募内容を確認できて便利。
- 企業のホームページにある応募フォームから応募する。  
応募フォームに入力した内容をコピーし、保管しておくことを忘れずに。
- メールに応募書類を添付し、企業に送信する。  
メールの件名は「営業職に応募します」など、応募であることがわかるものに。
- 会社説明会に参加する。  
筆記試験や面接を兼ねる場合もある。応募書類を忘れずに、身だしなみを整えて臨もう。
- 応募書類を郵送する。  
細かなところで常識力が見られる。カバーレターや封筒の宛名はマナーを守って書こう。

### Webの応募フォームを活用しよう

「リクナビNEXT」では、プロフィールや職務経歴書をフォームに登録できる。Web応募を受け付けている企業に応募する場合、登録情報に必要な修正を加えて、送信するだけでOK。ぜひ活用しよう！

[今すぐ会員登録する](#)

[関連する記事もチェック](#)

[▶ 5分でわかる！メール作法\(転職版\)](#)

[▶ 転職活動やることリストの目次へ](#)

[↑ ページの先頭へ](#)

## 09 面接の対策を立てよう

事前にシミュレーションしておけば不安が軽くなって、実力を出せるはず。短時間で大切なポイントをしっかりと伝えられるように準備しよう！

### 面接を乗り切るための準備項目をチェックしよう

- 企業ホームページに目を通し、志望動機を整理しておく。
- これまでの職務経験や仕事内容を、簡潔に説明できるようにする。
- よく聞かれる質問項目を確認し、自分の考えをまとめておく。
- 面接担当者に質問したいことを準備する。
- 筆記試験がある場合は、市販の問題集を活用するなどして準備する。

### 面接でよく聞かれる質問をチェックしよう

- 転職を決意した理由は何ですか。**  
採用しても、また同じ理由で退職しないかを確認する質問。前の会社の不満はNG。次に向けて、どんなチャレンジをしたいのかを前向きに伝えよう。
- なぜこの業界を選んだのですか。**  
漠然としたイメージや憧れで応募していないかを確認する質問。その業界に興味を持つきっかけになったエピソードを具体的に話そう。
- なぜ当社を志望したのですか。**  
入社意欲を確認する質問。商品やサービス、社風、理念などその企業ならではの特効から始めて、入社後にどんな仕事がしたいかを伝えよう。
- 前(今)の会社では、どのような仕事をしていましたか。**  
採用後の活躍心りを押し量るための質問。仕事内容だけでなく、心がけてきたことや、経験をどう活かしたいのかもアピールしよう。
- 仕事上での失敗談があれば教えてください。**  
トラブルの対応能力や失敗から学ぶ力を押し量るための質問。失敗のエピソードだけでなく、どう対応し、何を学んだのかも伝えよう。
- あなたの長所と短所を教えてください。**  
自己分析ができていないかを確認する質問。「頑固なので、人の意見を聞くよう努めている」など、改善しようとする姿勢を見せるのも大切。
- 入社したらどんな仕事をしたいですか。**  
応募者の希望と実際の仕事内容にズレがないかを確認する質問。「何でもします」は、目的意識がないと思われるのでNG。目標を具体的に伝えよう。
- ほかに応募している会社はありますか。**  
入社意欲を確認する質問。他社への応募を隠す必要はない。「他社も選考中だが、御社に強い魅力を感じている」などが無難。ただし、業種や職種に一貫性がないと不信感を持たれることがあるので要注意。

### 面接担当者に質問することを整理する

#### 【好印象を与える質問】

- 企業研究したことについてさらに詳しくたずねるなど、意欲が伝わる質問。  
※ただし、応募職種に関係ないことを根掘り葉掘り聞くのはマイナス。
- 入社後にどんな努力をすればいいかなど、向上心が伝わる質問。
- 「お答えいただける範囲で結構です」など、配慮が感じられる質問。

#### 【マイナス印象を与える質問】

- 仕事に関するだけでなく、待遇や福利厚生面ばかりたずねる。
- 企業のホームページに載っていることを聞く。
- 面接で説明を受けたはずのことを聞く。